



Indonesia Weekly

2020年4月20日



(対象期間：2020/4/13～2020/4/17)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年4月17日)



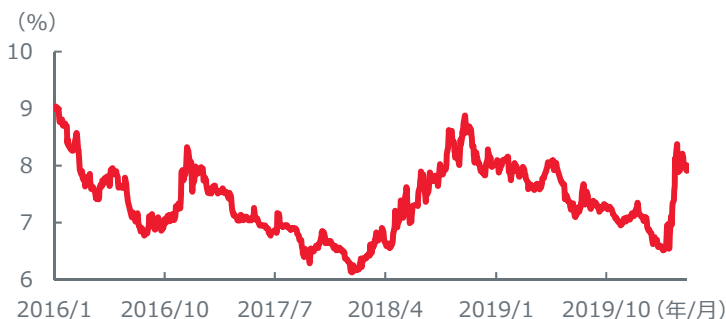
【株式市場】

週初は、原油安や外国人投資家の資金流出を背景に大手銀行、不動産などを中心にインドネシア株式市場は下落しました。14日、インドネシア中央銀行（BI）は市場予想に反して政策金利を据え置きましたが、預金準備率を2%引き下げました。同時に2020年のGDP成長率予測を2.3%に引き下げました。週末にかけては、米国の経済活動再開への期待などを背景に上昇しましたが、週間では下落となりました。

2020/4/9*	2020/4/17	変化率
4,649.08	4,634.82	-0.31%

*10日は休場。

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年4月17日)



【債券市場】

インドネシア10年国債の利回りは低下（価格は上昇）しました。火曜日に行われた国債入札の応募金額は目標額を上回ったものの、前回から応募倍率は鈍化しました。週半ばにかけて、外国人投資家の資金流入などを背景に、短期債を中心に利回りは低下しました。17日、大手格付け会社S&Pは政府の債務負担の増加および通貨下落による下振れリスクを背景に、インドネシアの格付け見直しをBBB安定的からBBBネガティブに変更しました。

2020/4/9*	2020/4/17	変化幅
8.035	7.910	-0.125

*10日は休場。

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年4月17日)



【為替市場】

引き続きジャカルタのオフィスの閉鎖などを含む大規模な社会的制限やBIの予想外の政策金利据え置きなどを好感し、ルピアは続伸しました。米国の経済活動再開やウイルス治療薬開発への期待などを背景に、世界的に株高になるなど投資家心理が好転し、債券市場への外国人投資家への資金流入がみられ、ルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。

2020/4/10	2020/4/17	変化率
0.6907	0.6909	+0.03%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アジアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャルグループ